

KAORI UENO BIG BAND 2026

上野香織
ビッグバンド

11/6
金

開場 18:00 開演 19:00

J:COM

北九州芸術劇場
中劇場

福岡県北九州市小倉北区室町
1-1-11 リバーウォーク北九州内

チケット 一般前売り

SS席 7,000円

S席 5,500円

A席 4,000円

当日券は各500円増

18歳以下
のお子様を
無料でご招待!

その保護者様も半額で
ご来場いただけます。

詳しくは→



チケットプレイガイド

- チケットぴあ Pコード 329-768
- 小倉井筒屋新館 8 階
- Q-station (J:COM 北九州芸術劇場 5 階)
- 松田楽器店

主催 上野香織ジャズコンサート実行委員会

後援 北九州市 北九州市教育委員会 西日本新聞社
公益財団法人 北九州市芸術文化振興財団

特別協賛

レクサス小倉

max
maxaudio

九機プレス工業

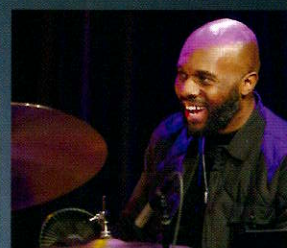


助成 令和 8 年度 文化庁
劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業
北九州市文化芸術次世代育成事業 TRY ARTs 2026

お問い合わせ 080-9102-5664 (上野香織ジャズコンサート実行委員会)



Noah Jackson
ノア・ジャクソン (Bass)



Nate Winn
ネイト・ウィン (Drums)



岡崎 好朗 (Trumpet)



菊田 邦裕 (Trumpet)



原田 孝夫 (Trumpet)



加茂 弘之 (Trumpet)



永石 郁雄 (Trombone)



植田 栄作 (Trombone)



本村アトム (Trombone)



浦 ヒロノリ (Alto Sax)



江崎 しおり (Alto Sax)



浜崎 航 (Tenor Sax)



宮崎 華子 (Tenor Sax)



田中 麻衣子 (Baritone Sax)

KAORI UENO BIG BAND 2026

出演者プロフィール



上野 香織 Piano

福岡県北九州市出身。

幼少の頃より、ピアノ講師である母の影響を受けピアノを始める。高校卒業後、田村勝哉氏に師事。

2005年より本格的にジャズライブ活動を開始。2011年より北九州芸術劇場にて年に一度コンサートを開催。例年ソールドアウトにて好評を博す。2014年9月、日韓国交正常化50周年記念事業に井島正雄trioで参加、韓国ソウル市にて演奏。同年11月、ファーストアルバム「LUCKY STRIKE」を全国リリース。平成26年度北九州市民文化奨励賞受賞。2015年、NHKFMセッション2015に自己のトリオで出演、渋谷NHKふれあいホールにて公開録音。2017年3月O-1ビザ（アーティストビザ）を取得後、渡米。有名ジャズクラブMezzrow、Cleopatra's Needle、Rockwood Music Hall等で演奏。2018年セカンドアルバム「DESTINATIONS」をニューヨーク在住の気鋭ミュージシャンとのクインテットにて録音、リリース。同年10月、レコーディングミュージシャンを全員招き日本10箇所ツアーを行う。以後毎年アメリカよりミュージシャンを招き日本ツアーを行っている。

2023年初のライブレコーディングによる「BLACK HEART」を発売。「ジャズ批評」2023年ジャズ・オーディオディスク大賞インストルメンタル部門にて7位にランクイン。2026年北九州芸術劇場大ホールでのライブレコーディングしたCD、DVD「with Orchestra」をリリース。

過去共演ミュージシャンに岡崎好朗(tp)、岡淳(ts)、金子晴美(vo)、川崎哲郎(ts)、多田誠司(as)、TOKU(vo,flh)、細川綾子(vo)、向井滋春(tb)、YAS岡山(ds)等。



Noah Jackson ノア・ジャクソン Bass

デトロイト、ミシガン出身。デトロイト在住。

マンハッタン音楽大学卒業後、ベーシスト、チェリストとしてジャズ、クラシック、ファンク、ソウル、作曲の分野でも幅広く活動。

ベーシストとしてのサポート力、創造的で特徴的な演奏様々なミュージシャンからの支持を得ている。

ブランフォード・マルサリス、マルサリスファミリー、テレンス・ブランチャード、ラヴィ・コルトレーン、ケニー・バロン等数多くの著名ミュージシャン等と共演。世界中のジャズフェスティバル、会場で演奏活動を行っている。



Nate Winn ネイト・ウィン Drums

ミシガン州デトロイト出身。

10代の頃に伝説的なデトロイトのジャズ・トランペッター、マーカス・ベルグレイヴが指揮する名門デトロイト・シビック・ジャズ・オーケストラのメンバーに選ばれる。ウェイノ州立大学で音楽学の学士号を取得、在学中にジョシュア・レッドマン、ランディ・ウェストン、ジョー・ロヴァーノらと共演。その後、マサチューセッツ州ボストンにあるパークリー音楽大学のグローバル・ジャズ・インスティテュートで修士号を取得。ダニーロ・ベレス、パット・メセニー、テレンス・ブランチャード、ジョン・パティトゥッチ、カート・ウォーラム、ロバート・ハースト、ロドニー・ウィテカー、ヴィクター・ウーテン、スティーブ・ベイリー、ジェフ・ローバー、ボブ・ジェームス、ロベルト・ガンパリーニ、ティア・フラ、ショーン・ジョーンズ、スティーブ・トゥーレ、ティム・リーズ、ロニー・ロウズ、デトロイト出身のアーティストであるアンブ・フィドラー、そして元ギャップ・バンドのR&Bシンガー、チャーリー・ウィルソンなど、数多くの一流ジャズ・ミュージシャンたちと共演。またデトロイト・ジャズ・フェスト、オールスターズやクイアナ・ライネルとのツアーにも参加。現在はミシガン大学のジャズ学部で教員を務め、ドラムおよびパーカッションを指導にも当たっている。



岡崎 好朗 Trumpet

1971年4月27日生まれ。東京都江東区出身。

12歳からトランペットを始め中学生のときに観た「ベニーグッドマン物語」に影響されジャズを聴き始める。17歳のときからジャズを演奏し始め、五十嵐一生、村田浩に師事する。

1990年の夏にBerklee In Japan セミナーに参加して奨学金を獲得して、1991年9月にボストンにあるBerklee College of Musicに留学する。1994年同校パフォーマンス科を卒業。2003年8月21日

に、自己のQuintet「OKAZAKI BROTHERS」(ts:岡崎正典・p:三木成能・b:上村信・ds:吉岡大輔)でデビューアルバム「HANK'S MOOD」をイーストワークスエンターテインメントより発売。2005年5月よりNYに拠点を移し、同年12月にアーティストビザ取得。渡米中は多くのジャズクラブ(Blue Note, Birdland, Dizzy's club coca-cola, Iridium, Sweet Rhythm, Kitano等)で演奏し、Mingus Bigband, Mingus Dynasty, Velery Ponomarev Bigband, 小曽根真 No Name Horses等で活躍。2008年9月NYから東京に拠点を戻し、ライブ、コンサート、レコーディングなどで活躍中。昭和音楽大学講師、国立音楽大学講師。



菊田 邦裕 Trumpet, Flügelhorn

1992/10/20 宮城県仙台市。

2歳からクラシックピアノを学び、管楽器奏者で調律師でもある父、叔父の影響で9歳からトランペットを始める。Roy Hargrove氏に影響を受けジャズに興味を持ち、20歳にて沢野源裕氏に師事。歌うトランペッターとして世界的に評価され、youtubeの再生回数が380万回を達成。これまでに、TOKU氏、rats&star桑野信義氏、Erika Matsuo氏、Marcero Kimura氏、Art Hirahara氏、Jacob Koller氏、MONKEY MAJIK氏、佐藤竹善氏、Marty Holoubek氏、David Mathews氏、深井亮則氏、秩父英里氏、小曽根真氏、片倉真由子氏、石若駿氏、他多数のミュージシャンと共演。

2022年Eri Chichibu Large Ensembleにて「丸の内COTTON CLUB」に出演。2023年Erika Matsuo 韓国、全国ツアーに参加。Eri Chichibu bandにて「横浜Jazz promenade」に出演。2024年ドラマ『地球の歩き方』エンディングテーマMonkey Majik「The Good Life」に参加。『billboard大阪』『billboard東京』に出演。2025年2月Marcelo Kimura Groupにて「Blue Note Place」に出演。JR東日本東北総合サービス株式会社「LiViT」35周年記念コーポレートミュージック「Windline」(秩父英里 作曲)にトランペットで参加。



浜崎 航 Tenor Sax

1977年長崎県生まれ。

セルマー社野中貿易50周年記念野中サクソフォンコンクールジャズ部門にて第1位受賞。2012年自己の主宰する「Encounter」にてアメリカカリフォルニアで行われた55th Monterey Jazz Festに出演、3回にわたるスタンディングオベーション、アンコールを受ける。フジロックフェスティバル出演、リーリトナーバンドで東京ジャズ出演。ハービーメイソンバンドでブルーノート東京出演。ディズニーマーワールドビートの日本ツアーや、髭ダンディズムのツアーサポートでも活躍。現在日本が世界に誇る石森管楽器のオリジナルサクスのエンドーサーも務め楽器開発にも関わる。現在日本が世界に誇る石森管楽器のオリジナルサクスのエンドーサーも務め楽器開発にも関わる。



浦 ヒロノリ Alto Sax

1986年生まれ。福岡県出身。

13歳からサクスを始め、ポールデモンドを聴きジャズに興味を持つ。パークリー音楽大学へ奨学金を得て入学。在学中、多数の学内コンサートへ選抜され出演。2011年10月には日本人として初めて、ウクライナで開催される国際ジャズフェスティバル「International Days of Jazz Festival in Vinnitsa」に出演し好評を博す。その他にアジア、ヨーロッパなど国内外での演奏や、TV番組、CM等のレコーディングにも多数参加。2021年には日本レコード大賞と紅白歌合戦へ、MISIAのバンドメンバーとして参加。ジャズのみならずゴスペルやソウル、ラテンなど様々なスタイルから影響を受け、そして糸島の自然の中での生活から得ている自由な音の表現は、多方面から高い評価を得ている。これまでに、黒田卓也、Paula Cole、MISIA、久保田利伸、藤井フミヤ、GLAY、河口恭吾、元ちとせ、Little Glee Monsterなど、ジャンルを超えて様々なアーティストと共演。2019年にはデビューアルバム「Grateful」、2026年にはセカンドアルバム「Jungle Smash」をリリース。現在は自己のプロジェクトでの活動のほか、全国各地で活動を展開している。



永石 郁雄 Trombone

佐賀県唐津市出身。

原信夫とシャープス&フラッツ、豊岡豊とスイングフェイス、岡本卓生とゲイスターズなどにトロンボーン奏者として在籍する。多くの歌手のレコーディング & CM 等の録音やレコード大賞のバックバンド参加するなど、豊富な経験を生かし、2003年、プロミュージシャンで構成する博多オールスターズビッグバンドを発足しました。最近では博多トロンボーン倶楽部(4トロンボーン)でも活動中。